

つみがた C・S 通信

令和5年10月17日、月瀉中学校会議室にて今年度第2回小中合同学校運営協議会が開催されました。月瀉小、中学校校長より、前期学校評価の報告および改善の方策の発表、それに対する質疑応答、その後のグループ協議では、《地域でしてほしいこと、学校でしてほしいこと》をそれぞれの視点から忌憚のない意見交換が行われました。

【次第】

- 1、開会のあいさつ・・・月瀉中学校 校長 小竹 智
- 2、前期学校評価について
 - (1) 月瀉中学校・・・報告及び改善の方策
 - (2) 月瀉小学校・・・報告及び改善の方策
- 3、協議

議題・・・「地域で、学校で、してほしいことは
どんなことか？」
- 4、閉会のあいさつ・・・月瀉小学校 校長 寺田 武文



【グループ協議での学校職員の感想】

◎ 月瀉地区の CS 会議は、とても有意義な会であると実感しています。どの点が有意義かは多々あると思いますが、私が思うこと2つを紹介します。

1つ目は、月瀉地区は小中合同で CS 会議を行っているということです。小・中学校の様子を同時に知ることができる機会があることは、実はすごい事なのではないかと思えます。

2つ目は、委員さんとの闊達な話合いから、これはやってみたい取組だと思えるアイデアが生まれることです。今回の CS 会議で感銘を受けたアイデアは、「文化祭を小中同一会場ですることは可能か」です。これはぜひ取り組みたいアイデアであると思えました。小中の絵画作品があり、

中学校の音楽発表会がある、それらを小中学校の児童生徒が鑑賞する。また、保護者や地域の皆様にとっても、多くの方々が来場しやすくなるのではないかと思います。



◎ 「中学生から地域の行事に参加してもらいたい」「月瀉地域を中学生に盛り上げてもらいたい」、今も行っている活動が必要とされていると感じました。また、「地域のクリーン作業に中学校の敷地も混ぜてほしい」という話題がでました。生徒と職員だけでは大変なことを話すと、コロナ前の4年前までは PTA 活動であったことを教えていただきました。地域と学校が一体となって行える活動は、実は以前は行っていた活動もあることに気付きました。